



12月の相談日です。日々の生活の中で、誰かに相談したいと思っ... 秘密は厳守されますので、一人で解決しようとせず、まずは相談してみてもいいですか。



*市民相談センターは、市役所榛原庁舎北側の就業改善センター2階にあります。

一般相談

日常生活の中での困りごとや悩み、分からないことなどの相談を受け付けます。困ったらまずは相談を。

期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
会場 市民相談センター
問 市民相談センター ☎0088

消費生活相談

契約トラブルや消費者金融、多重債務、商品苦情など、消費や契約に関する相談を受け付けます。

期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
会場 市民相談センター
問 市民相談センター ☎0088

法律相談(先着8人)

相続や遺産分割、離婚、多重債務や債務整理などの法律解釈や手続き、人権に関する相談などを無料で受け付けます。弁護士、行政相談員、人権擁護委員が1回30分... 相談を受けるには、当日電話予約が必要です。

期日 12月7日(金)・21日(金)
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 市民相談センター
予約 8:30～
* 当日電話予約のみ

問 市民相談センター ☎0088

心配ごと相談

日常生活から起こる家庭問題や金銭貸借などの紛争解決。司法書士と民生委員が対応します。

期日 12月14日(金)・28日(金)
時間 9:00～11:30
会場 市民相談センター
問 市民相談センター ☎0088

人権身の上相談

人権擁護委員が相談に応じます。

期日 12月6日(金)
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 相良庁舎3階 第1会議室
市民相談センター
問 市民課 ☎0021

多重債務者無料相談

借金で困っている人のために、弁護士による無料相談会を開催します。相談時には契約書、振込票、督促状、利用明細などの参考となる書類を持参してください。解決する方法は、必ずあります。一人で悩まずに、まずは相談してください。

期日 12月10日(土)
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 市民相談センター
予約 相談3日前日までに電話または来所の上、予約してください。

問 市民相談センター ☎0088

行政相談

行政相談員が、行政に対する苦情や要望などの相談を受け付けます。

期日 12月7日(金)・21日(金)
時間 10:00～12:00
会場 市民相談センター

問 市民相談センター ☎0088

介護相談

介護に関する相談に応じます。

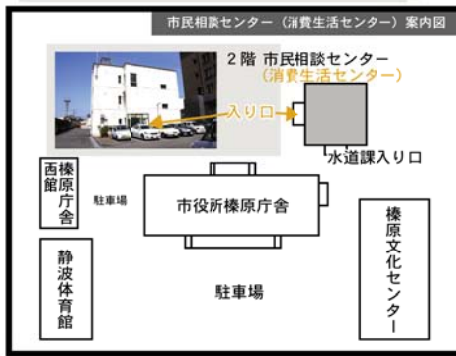
期日 月曜日～金曜日
時間 8:15～17:00
会場 榛原庁舎2階 相談室
相良保健センター

問 高齢者福祉課 ☎0076

高齢者虐待予防相談

「高齢者に関する虐待かな」と思ったときの相談です。事前に問い合わせをして、気軽に相談ください。

期日 12月16日(金)
時間 13:30～16:00
会場 榛原庁舎2階 相談室
問 包括支援センターオーリーブ ☎8822



*職員や来庁者など、他人に会うことなく入ることができます

整形外科は木曜日の受診を再開しました

■整形外科は10月から常勤医師が2人となり、木曜日の診療を再開しました。月曜日から金曜日の毎日、外来診療を行っています。10月1日赴任医師 ■整形外科 部長 鈴木玄一郎 医師

■総合内科外来の火曜日、金曜日は、担当医師1人の診察のため、大変混雑し長時間お待たせしております。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■11月から総合診療の夕方診療を月から金曜日に行います。(内科医師の対応ではありません)

FOR THE PATIENTS

今月は 外来 を紹介します

現在、当院の外来には、17の診療科があります。病院に受診したとき、そこで関わるのが私たち外来看護師です。外来には、看護師以外に口腔衛生士と救急救命士がいます。口腔衛生士は、口腔外科、矯正歯科外来で診察の介助をしたり、病棟で入院患者さんの口腔ケアを行ったりしています。母親学級で、妊婦さんや産まれてくる赤ちゃんの口腔ケアについての説明もしています。また、救急救命士は、今年から仲間に加わりました。救急外来の業務やモービルCUCU(当院の救急車)の運転もします。患者さんがいち早くよい医療が受けられるような体制をとっています。

スタッフ

▼看護師 24人(助産師1人を含む)
常勤11人、パート13人

▼看護助手・クラーク 4人
▼口腔衛生士 3人
▼救急救命士 2人

外来の一日

外来診療は、主に午前中に行っています。各外来の担当看護師が診察の介助を行います。毎日同じ看護師が同じ外来を担当したいと考えています。ですが、なかなか難しくできない状況であり、不安に思う患者さん多いんじゃないでしょうか。しかし、患者さんからこの前受診したときはお休みだったね。今日はあなたがいってくれてよかったよ。だいぶ調子が良くなりました。などの話を聞くと、とてもうれしく感じます。

当院では、看護部全体として「継続受持ち制」を取り入れていきます。外でも同じ看護師が同じ外来を担当し、患者さんにとっての「継続受持ち看護師」になれるように、引き続き取り組んでいきたいと思っています。診察が終了した午後は、翌日の診察がスムーズに進むように、予約状況や検査の確認をしています。診療科によっては、担当医師が1人の場合があり、患者さんには長い時間お待ちいただく大変ご迷惑をおかけして

おりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。安全で安心な外来看護を提供します

外来看護師は、診療科での医師の診察の介助以外に、検査(内視鏡や心臓カテーテルなど)の介助、処置や注射などさまざまな担当に分かれ業務を行っています。また、化学療法室や救急外来も担当しています。これらの場所では、専門的な知識と技術が求められます。患者さんが安全に治療を受けられるように、細心の注意を払っています。

地域医療を大切にしています

私たち外来看護師のほとんどは、地元(牧之原市、三日町)の住民です。特に地域を大切に思っており、外来という職場からも地域に根付いている看護師の集まりです。

今週は〇〇地区の運動会があるから救急外来に患者さんがたくさん来るかもしれないね。などという会話があるのも、外来特有です。また、外来へは応援医師が県外からたくさん来て来ています。診察時に患者さんが「先生、きのうから胸がせつ

なくて...」とき、外でがい転んじゃって...」などと話されると、県外からの先生はみんな不思議そうな顔をされ、看護師にこそ「そり」と胸がせつないってどういふこと? (胸がキーンとする意味じゃないよね...)「がらい...」ってどう転んだの?」と聞いてきます。こんなときは地元の私たちの出番です。私たちが患者さんの大切な思いを先生にきちんとお伝えしていきますので、安心して受診してください。

主任 太田重貴子



外来スタッフ。前列右端が救急応援の大淵医師、右から2人目が太田主任。後列右の2人が救急救命士。